

甚小だより

明日咲くつぼみ



あま市立甚目寺小学校

平成 29 年度 第 4 号

平成29年 6月21日

甚小まつり (6月16日)

今年で 25 回目となる甚小まつりは、「みんななかよく ニコニコワクワク甚小まつり」をテーマに開催されました。3 年生以上の各学級では、5 月後半より出店内容について話し合い、店の準備と平行して P R 用のポスター作り、給食放送を利用したの出店紹介などの活動にも取り組み、自分たちの手で創り上げる意識を高めました。体育館が使用できない分、いろいろな工夫も見られました。当日は、多くの保護者や地域の皆様に参観・参加いただくとともに、子どもたちの学年を超えた交流を深めることができました。また、アルミ缶や入場券代わりのペットボトルキャップも大変多く集まりました。多くの保護者・地域の方々のご来校に厚く御礼申し上げます。



スクールガード (S G) 情報交換会

甚小まつり終了後に情報交換会が開かれました。現在 S G には、保護者・P T A の O B ・老人会など 39 名の方の登録があり、登下校の様子を中心に、子どもたちの学校外の生活を見守っていただいております。

情報交換会での主な意見です。

- ・ 朝、通学団の「渋滞」状態がよく発生する。加えて、近くの駐車場からトラックの出入りと中高生の自転車の通行と重なり、危険と思われる光景が見られる。
- ・ これまで、きちんと並んでいくことができた通学団は、比較的並んでいくという習慣が身についている。
- ・ 細い道が多いが、そこで追い抜こうとする通学団があり、危険と思うことがある。
- ・ なかなかあいさつはしないので、こちらから声をかけている。
- ・ 保護者の方が、スピードを結構出して運転されることがあり、安全運転に努めていただきたい。

また、S G 会長、P T A 代表から次のようなお願いがありました。

- ・ 子どもの安全とともに、S G の皆さんの安全にも十分に気をつけていただきたい。
- ・ S G として、地域や保護者、子どもたちから認知されることが大切である。そのために、横断旗、帽子、ベスト等を携帯していただきたい。

子どもたちには、多くの人に見守られているという安心感と感謝の気持ちを持ち、安全安心にかかわる指導を謙虚に受け入れることを伝えていきたいと思います。

熱中症予防

熱中症が心配される時期になりました。熱中症とは、体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体温調節がうまくいかなくなり、具合が悪くなることです。熱中症は気温がそれほど高くなくても湿度が高いと発症する可能性があります。予防として、次の 3 点が大切とされます。

- ・ 規則正しい生活を送り体力を高めること。
- ・ 体温を下げる体の仕組みである汗をかくこと。汗をかくということは、体外に水分や塩分が出てしまいますので、補給することが必要になります。
- ・ 外出時には帽子をかぶるなど、体温を高めない工夫をすること。

◆ 7 月 1 日～運動会までの期間限定措置として、以下のことも可能とします

(1) スポーツドリンクを学校で摂取すること

- ・ 学校での飲料は原則お茶ですが、スポーツドリンクを持ってくる場合は水筒に入れて持って来てください。
- ・ 子ども用はスポーツドリンクを 2 倍に薄めて水分補給することが望ましいそうです。

(2) 首を冷やすためのクールグッズを使用すること

- ・ 首は体内温度を下げる重要な部位です。
- ・ 運動会の練習および演技・競技の際には、安全上の理由と演技の服装をそろえるという理由から使用を制限する場合があります。